

# 高山の文化

No.249 2024.1.1 Culture in Takayama 謹賀新年

## 一般社団法人 高山市文化協会 発行

高山市昭和町1-188-1 高山市民文化会館内 Tel.0577-34-6550 Fax.0577-34-6877  
メール●mail@takayama-bunka.org ホームページ●http://takayama-bunka.org  
文化情報番組「すばらしき文化の和」 HitsFM(76.5MHz)金曜午後1時30分より放送中



会員並びに市民の皆様、明けておめでとうございませう。天皇陛下は、三年続けて会始で新型コロナウイルス禍に触れ、コロナ前の日常が戻るように願いをこめて、次のような御歌を詠まれました。  
**コロナ禍に友と楽器を奏で**  
うる喜び語る生徒らの笑み  
日々を温かく見守った友人らへの感謝の気持ちは、飛騨びとの文化芸術団体の心にも通じる、和する歌であります。四年前、はじめは何が起きているかさえ分からず、原因も対策も不明なコロナウイルスは、変異を繰り返しながら猛威を振り、その間に多くのものを失いました。  
私の好きな詩人坂村真民の詩集『念ずれば花ひらく』の中に「念ずれば花ひらく 苦しむとき 母がいつも口にしたことばを わたしもいつのころからか となえるようになった」という一文があり、その言葉を大切に思ってきました。

今回のコロナ禍についても、苦しみの中で対策を講じ、社会の在り方さえ変え、皆の行動も変化しました。そうして、私たちはコロナ禍を乗り越えました。その変化の原動力は、「和を養う」ということだったと思います。  
禪の精神に「養和」という言葉があります。それは、あらゆるものを調和する心を育てる、という意味です。人の心が和らいで、他と協調する精神こそが、日本人の文化にとっての根本精神だと思います。  
艱難辛苦を共にした四年間を経て、当協会はようやく前途に和光を見出すことができました。文化芸術団体は、令和五年初秋から、和氣満堂のなか鬱憤を晴らすかのようになり、力強く活動を再開しました。ようやく、文化芸術の薫るまちが動き出しました。  
これからも私たち高山市文化協会は、「養和」あるまちを目指して活動を続けます。さて、高山市は令和四年度



小峯大羽碑  
「夏草に一路あり登山口と知る」  
飛騨東照宮境内

## 年頭のご挨拶



(一社)高山市文化協会  
会長 河渡正暁

## 新年に寄せて：「和を養う」ということ

高山市は令和三年十一月、建設提言書」を提出しました。この中で、高山駅西周辺の都市機能の活性化とともに、市民のより一層の文化の感性を高めるために、複合・多機能施設整備が推進されることを

より高山駅西地区まちづくり検討会議を開催しています。これは「高山の未来を考える」という第九次総合計画の重要課題の一つです。  
当協会は、令和三年十一月、高山市に対して「新文化会館建設提言書」を提出しました。この中で、高山駅西周辺の都市機能の活性化とともに、市民のより一層の文化の感性を高めるために、複合・多機能施設整備が推進されることを要望しました。  
この要望が実現し、市民と「養和」するまちづくりが進められることを祈念します。最後に、市民あつての高山市文化協会です。第一に、市民に喜ばれること、第二に、市民に信頼されること、第三に、市民に必要とされることを目指し、これからも頑張っていきます。  
令和六年も、高山市文化協会をよろしく願います。

## 文化功労者を顕彰

高山市文化協会では、長年に亘り郷土の文化振興とその発展に寄与された方を顕彰しています。本年は3名の方を1月1日の新年市民互礼会にて表彰します。(敬称略・順不同)



**直井清正** 自然保護  
長年に亘り野鳥研究と自然保護に尽力され、地域の文化振興に大きく貢献されましたその功績。  
**吉朝則富** 考古学者  
長年に亘り考古学研究と後進の指導を通じて、地域の文化振興に大きく貢献されましたその功績。  
**坪内喜智琅榮** 坪内流会主  
長年に亘り民謡の普及と後進の指導を通じて、地域の文化振興に大きく貢献されましたその功績。

お詫び  
第四十七回飛騨文芸祭作品集「飛騨文藝」の一部に乱丁があったため、再度印刷し一月五日(金)より再配布を行うこととしました。併せて誤字なども訂正させていただきます。誠に申し訳ございませんでした。  
また、前号で紹介した、上牧右田子さんの歌集の誌名は「花片の冷え」の間違いでした。お詫びして訂正します。  
高山文化フォーラム  
お試し参加について  
毎年六月に開催している高山文化フォーラムは、高山市文化協会会員を対象とした催しですが、次回より当協会未加盟団体も文化フォーラムの参加費をご負担いただければ、お試しで参加できます。  
◇日程 六月二十二日(土)～二十三日(日)  
◇参加費 展示…六千円 芸能…一万五千元  
◇申込み締め切り 二月末日  
詳しくは、高山市文化協会事務局までお問い合わせください。

## 高山市文化協会賛助会員

- 文化協会の活動を支援いただいている法人等です。ご支援ありがとうございます。
- |  |  |  |  |
|--|--|--|--|
| 株式会社 アリス<br>株式会社 伊千呂<br>株式会社 伊藤薬局<br>株式会社 岩佐鐵工所<br>打保法律事務所<br>株式会社 打保屋<br>遠藤隆浩税理士事務所<br>大垣共立銀行<br>柏木工 株式会社<br>株式会社 栗本生花店<br>株式会社 コサカ楽器<br>阪下法律事務所<br>山都印刷 株式会社<br>株式会社 三礼<br>株式会社 十六銀行高山支店<br>株式会社 松華堂文具店<br>新興自動車 株式会社<br>崇教 眞光<br>株式会社 洲さき | 株式会社 スズキ薬局<br>特定医療法人人生仁会 須田病院<br>株式会社 駿河屋魚一<br>株式会社 瀬木油店<br>株式会社 第一産業高山本店<br>高山金融協会<br>株式会社 高山グリーンホテル<br>高山市商店街振興組合連合会<br>株式会社 高山市民時報社<br>高山信用金庫<br>高山米穀協業組合<br>高山祭屋台保存技術協同組合<br>田中勝彦税理士事務所<br>株式会社 たびの恵み<br>株式会社 中日AVシステム 飛騨営業所<br>中部電力パワーグリッド(株) 高山支社<br>株式会社 トーエネック高山営業所<br>なべかま<br>株式会社 鍋島商店 | 二木酒造 株式会社<br>株式会社 二反田工務店<br>日進木工 株式会社<br>株式会社 丹生川観光<br>濃飛乗合自動車 株式会社<br>株式会社 挾土組<br>飛騨印刷 株式会社<br>飛騨会計事務所<br>飛騨建設 株式会社<br>飛騨産業 株式会社<br>ヒダシキ 株式会社<br>飛騨信用組合<br>斐太石油 株式会社<br>(一社)飛騨・高山観光コンベンション協会<br>飛騨高山森林組合<br>医療法人天照会ひだ高山整形外科<br>株式会社 飛騨庭石<br>株式会社 ひだホテルプラザ<br>飛騨酪農農業協同組合 | 飛騨冷凍空調 株式会社<br>飛雄建設 株式会社<br>有限会社 平瀬酒造店<br>有限会社 フジ企画広告事務所<br>ブレン企画 株式会社<br>平和メディク 株式会社<br>株式会社 ペガサスseiso<br>前越路子税理士事務所<br>株式会社 丸進工機<br>丸仲建設 株式会社<br>有限会社 丸山建築<br>株式会社 みの谷<br>名鉄観光サービス株式会社 高山支店<br>有限会社 モーツァルト<br>有限会社 モンビル<br>有限会社 ゆはら染工<br>有限会社 協隣<br>(50音順、敬称略) |
|--|--|--|--|

## 市民文化芸術鑑賞事業

●主催 高山市・(一社)高山市文化協会 ●お問合せ (一社)高山市文化協会 (tel.0577-34-6550)

# オーケストラ・アンサンブル金沢

# 岩崎宏美

## ポップス コンサート

in Takayama

指揮 鈴木織衛  
東京藝術大学指揮科講師

ゲスト 岩崎宏美

オーケストラ・アンサンブル金沢

演奏予定曲 | ロマンس・思秋期・聖母たちのララバイ 他

**2/27** 高山市民文化会館 大ホール  
午後7時開演 / 午後6時15分開場

チケット料金(税込) 全席指定  
(一般).....4,000円  
[メセナメイト会員].....3,500円  
[ジュニア(18才以下)]...1,000円  
※未就学児童のご入場はお断りいたします。  
※曲目など変更になる場合がございます。

発売日  
**1月13日(土)**  
メセナメイト先行発売/午前10時～  
一般発売/午後1時～  
ネット受付/午後2時～

〈駐車場のご案内〉  
公演当日、会館駐車場が満車の場合は市営駅西駐車場をご利用ください。  
(駐車料金の無料措置を行いますので、駐車券をお持ちください。)

プレイガイド  
高山市民文化会館、飛騨市文化交流センター  
チケットぴあ(Pコード258-909)  
ネット受付(特設ページより)  
http://takayama-bunka.org/  
fa/20240227oek.html

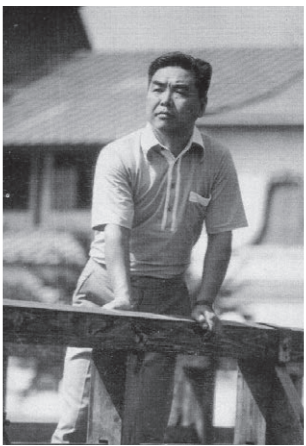
※ネット受付は窓口販売で完売した場合、行いません。  
※チケット購入整理券は、午前8時ごろから配布します(文化会館のみ、メセナメイト会員限定)。  
※メセナメイト会員のチケット購入は、会員証をお持ちいただければ代理の方でも購入できます(購入枚数制限なし)。また、当日のご入会でも購入いただけます。  
※ジュニアはメセナメイト会員の発売時間より購入できます(ジュニアのみの購入も可)。



「山を詠い雪に執せし俳句人生」

小鳥幸男

飛騨俳句会代表 伊藤浩子



第1句集『雪』より



俳誌「飛騨」創刊号

句会は、協力者も多く、飛騨地域の俳句の牽引車たるべく活動を続けております。

昭和二十一年三月に就職され、翌二十二年に市役所内に誕生した職場俳句会、城影会への参加により本格的な俳句人生が始まったのである。

第一句集『雪』の第一句「果てもなき一本道や雲の峰」にはきりつと眉を上げて彼方を見つめる引き締まった青年の覚悟が現れている。若くして句会の指導もいくつかされた

「：俳句という道を、生涯の大切なものとして選んだ人たちがその向上のために、もろもろの枷をはずして手をつないでゆく、その大きな実りのために、私の微力を傾けます。…あなたに良い句が生まれた時のよろこびを、飛騨俳句会と一緒に祝福したいのです。その祝福がくり返され、ひろが

小鳥幸男氏プロフィール
昭和六年生まれ。昭和二十一年高山市職員となり、市民課長、観光課長を経て退職。五十九年高山市市民時報社に入社。同年社長就任。平成四年より二十五年まで高山市文化協会会長。高山商工会議所副会長、高山ロータリークラブ会長、俳誌「飛騨」代表などを歴任。岐阜県学芸功労表彰（平10）。高山市芸術文化顕彰受賞（平18）。句集『雪』『トロイの城』『死語と寝て』『天骨』『夕薄暮』『春星』『飛騨ならし』



小鳥幸男

昭和五十四年頃だったか。高山市公民館で成人教養講座が始まった。現在の市政記念館が公民館として使われていた頃である。何か新しい風が欲しくて参加したのが小鳥幸男先生との出会いであった。

受講者三十五名の句を丁寧に、作者の思いよりも美しく鑑賞指導され十回まで脱落者なく終了した。その後「木曜会」としてスタートし毎年一枚刷りの句集を発行し毎号の巻頭言に基本を説かれた。

平成二年の春頃「飛騨俳句会」を設立しようかと思うと、市役所時代の先輩であり公私ともに父親のように相談されていた山口利男氏と各俳句会の代表者に話され、翌年の二月に創刊号を発刊することができた。当初の会員数は二百八十名ほどで南は金山、北は神岡と飛騨中から参加された。

「月光」を弾く
西 春彦
「月光」を弾く
西 春彦
「月光」を弾く
西 春彦

「：俳句という道を、生涯の大切なものとして選んだ人たちがその向上のために、もろもろの枷をはずして手をつないでゆく、その大きな実りのために、私の微力を傾けます。…あなたに良い句が生まれた時のよろこびを、飛騨俳句会と一緒に祝福したいのです。その祝福がくり返され、ひろが



飛騨俳句会 新年会 平成29年1月

お月見歌会 入選歌発表

令和五年度道伝えの日

◎一般の部 課題歌「月」

- 雁部貞夫先生選
「月光」を弾く
西 春彦
「月光」を弾く
西 春彦
「月光」を弾く
西 春彦

◎一般の部 自由歌

- 雁部貞夫先生選
幾度か愛していると繰り返す言葉にこもる彼の
「まび板の電気の下のおかめ石」人は歩めり時代
を超えて
谷口 茂雄
軍事便の束眺めつつ迷いたり保存か破棄か決断
つかず
坂田 壽美子
人生のどころどころに貼る付箋ひとさし指は記憶の扉
打保 洋子
ひと足を懸命に歩む母の腕とればひんやり汗ばみてみる
武藤 久美
黒光る屋根の端反も誇らしく山車は軒先ゆらゆらとゆく
西 春彦
豆稲架のはじける音は母の声「体をいとえや」
ぬける青空
本山 順子

◎高校生の部 課題歌「月」

- 入選第一席 レシーブよ月より高く飛んでみる休む間もなきラ
リーを止めて 飛騨神岡高等学校 一年 濱本 小羽
入選第二席 手をつなぎ歩く雁木の母と娘に月はやさしく光
をそそぐ 吉城高等学校 二年 山田 倅那
入選第三席 群雲のかかつて月がかくれんぼものさびしげな
犬の散歩道 斐太高等学校 一年 門前 遙希

芭蕉忌句会 入賞句発表

令和五年度道伝えの日

◎一般の部 兼題句「芭蕉忌」

- 大野鶴士先生選
芭蕉忌の独りの煮炊き怠らず
佐藤 満知子
芭蕉忌の釜鳴りを聞く平点前
澤木 正子
互選一席
傘立ての寄り添ふ杖や芭蕉の忌
奥田 貴美子

◎一般の部 当季雑詠句(秋・冬)

- 大野鶴士先生選
この町に喪の灯もあらむ良夜
かな
下垣内 町子
星飛んでまたひとつ消す
金蘭簿
長瀬 理々子
互選二席
芭蕉忌の独りの煮炊き怠らず
佐藤 満知子
互選三席
芭蕉忌の釜鳴りを聞く平点前
澤木 正子
互選一席
この町に喪の灯もあらむ良夜
かな
下垣内 町子
芭蕉忌の独りの煮炊き怠らず
佐藤 満知子
互選二席
芭蕉忌の釜鳴りを聞く平点前
澤木 正子
互選三席
強面の漁師のピアス寒鼻
納骨の母膝に抱く小春かな
今寺 久枝

「風目(目)」

新聞のお悔み欄の名前は、同世代の日本人らしいのが多く身近に感じる。しかし誕生欄の方は珍紛漢紛(チンプンカンブン)で、横に仮名読みを付けてもらわないととても読めない。

名付け親には失礼ながら、「一生希(いぶき)」とか「燈虹(ひいろ)」とか「冬空(とあ)」とかには、昭和生まれはついて行けない。オノマトペ(擬声語)は、また文字に寄り添い、そのようにして歳月は静かに流れて行きます。

こども夢創造事業のご報告

高山市文化協会は高山市の委託を受け、今年度より市内小中学生を対象としたこども夢創造事業を実施しました。ナスカの地上絵デザイングッズを作ろう!!
小中学生対象 八月七日及び十一日開催
光ミュージアムで開催していた「古代アンデス文明展」を鑑賞したのち、ナスカの地上絵をデザインしたガラスコースターやランチョンマットを製作しました。



- 文化協会後援催事案内
(一社)高山市文化協会加盟団体
JOCヤマハジュニアオリジナルコンサート2024
日時 二月四日(日) 午前10時
会場 文化会館小ホール
入場無料

飾り物展
令和6年 新春
干支の「辰」と歌会始のお題「和」
1月19日(金)~21日(日)
午前10時~午後5時(最終日は午後4時まで)
高山市民文化会館 3階講堂
主催 高山市/(一社)高山市文化協会
共催 高山「飾り物保存会」